

ソニー生命カップ 第45回全国レディーステニス大会 全国決勝大会

日時：2023年11月9日（木）～11日（土） 会場：東京都有明テニスの森公園テニスコート

1R VS宮崎 2-1

No.1 2-0 (61・62)

No.2 2-0 (64・63)

No.3 1-2 (62・57・6-10)

2R VS香川 3-0

No.1 2-0 (61・75)

No.2 2-0 (62・63)

No.3 2-0 (62・61)

3R VS愛知 0-3

No.1 1-2 (67(3)・64・8-10)

No.2 1-2 (61・36・6-10)

No.3 0-3 (06・06)

ベスト16



初めての全国レディースは、本当に楽しく充実した3日間でした。勝負のかかった宮崎戦、勝利が決まって回ってきた香川戦、あと一步で勝利が見えた愛知戦。特に東京を撃破してきた愛知戦では、最後まで自分達のプレーができました。本当に勝ちたかったです。ただ、あの試合をチームの皆でできたことを自信に変え、来年はさらに上を目指したいと思いました。有明まで応援に来て頂いた方々、ライブ配信でも応援して下さいました。一緒に頑張ってくれたペアのほのかちゃん、他のメンバー、監督、コーチ、本当にありがとうございました！

No.1 佐藤 あさ美

何もできなかった初出場。弱気で悔いが残った昨年。今年は恐れずに攻めることを課題に挑み、攻め続けても、それでも勝てなかった。それが今の実力でスコア以上に大きな差があったのだと思います。来年再チャレンジ出来ない事が悔しいけれど、恭ちゃん1年間忙しい中ありがとう！最後になりましたが、監督はじめチームの皆さん、応援してくれた方々、本当にありがとうございました。来年こそ卒業しましょう！

No.2 富山 さやか

ワクワクとドキドキを胸に有明のコートに立った初めての全国大会！1勝出来たこと、チームに支えられベスト16になれたこと凄く良い経験になりました。自分のこれからの課題をいっぱいお土産として持って帰ってきたので、また日々努力しあの会場に立てよう頑張っていきます。監督の竹ヶ原さんをはじめ女子連の方々、コーチ、応援をしてくださった皆様に感謝でいっぱいです。ありがとうございました。

No.3 加藤 信美

あの独特の雰囲気決勝大会で代表選手は堂々と戦いました。来年こそは！今回の悔しさを回収します。たくさんの応援ありがとうございました。

監督 竹ヶ原 靖子

初の有明、前日練習ではコートに驚き、不安を残したまま当日を迎えました。やれることはやってきたから、後は試合でそれを実行するのみ！と挑んでコートに向かい、実際入ってみると沢山の方が宮城から応援に来てくださり、凄く力になり楽しく試合をすることが出来ました。

最後の愛知戦で勝ち切れなかったのは実力不足だと痛感しました。来年は優勝を目指して貢献できるよう、さらに実力をつけていこうと思います。そして、最後まで戦ってくれたペア、チームメンバー、監督、コーチ、応援くださった皆様にこんなに楽しく試合をさせて頂き感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

No.1 上田 穂乃佳

初めての全国レディース、ワクワクしながらも平常心で試合ができるか不安でしたが、会場に到着すると団体戦ならではの緊張感と高揚感に包まれ、チームに支えられ前向きにチャレンジすることができました。しかしながら3回戦でNo.1に繋げられなかったことが、本当に悔しく情けなく申し訳ない思いで初めての全国が終了しました。紙一重のようで勝つことの遠さを改めて痛感させられました。この悔しさを糧に練習の質を上げて、次は必ず最終日まで残りたいと思います。宮城県役員の皆様、駆けつけてくれた友人、遠くから声援を送って下さった皆様、練習に付き合ってくれた皆様、送り出してくれた家族、竹ヶ原監督、チームメイト、そしてペアのさやかさん、本当にありがとうございました。

No.2 鍋木 恭子

この大会に出場を決めるまでには葛藤があり、自身と向き合う苦しい日々でした。そして掴んだ全国大会。独特の空気感に緊張もありましたが、どこか晴れ晴れとした気持ちでいる自分に驚きました。素晴らしいチームのおかげで3回戦まで進むことができ、初出場のいい思い出になりました。監督、チームの皆さん本当にありがとうございました。また、応援してくださったすべての方に深く感謝いたします。最後に、一步を踏み出す勇気をくれたペアの加藤さんに最大級のありがとうを！

No.3 船木 史代